別紙８様式第１号－➂（別紙８の第４の２及び第５の２関係）

事業実施計画書

（地域の未利用資源活用促進）

１　事業実施主体の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 事業実施主体名 |  |
| 所在地 |  |
| 代表者 |  |

２　現在の取組状況と事業目的

|  |  |
| --- | --- |
| 取組状況 |  |
| 事業目的 |  |

３　取組の推進体制

|  |
| --- |
| (都道府県、市町村及び関係団体等と連携した事業の推進体制について記載する。) |

４　地域の未利用資源の活用促進

（１）未利用資源の調査及び計画の策定

➀　未利用資源を利用した飼料製造に係る計画の策定

|  |  |
| --- | --- |
| 課題 | (未利用資源を利用した飼料の製造等に係る課題について記載する。) |
| 実証計画 | (未利用資源を利用した飼料の製造等に係る課題を解決するための実証計画を記載する。) |

　➁　未利用資源の調査

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施時期及び実施場所 | 調査範囲 | 内容 | 備考 |
|  |  |  |  |

(２)　飼料生産・利用に向けた体制構築

|  |
| --- |
|  |

(３)　未利用資源活用拡大の地域推進

|  |  |
| --- | --- |
|  | 具体的な推進計画 |
| ○○年度 |  |
| ○○年度 |  |
| ○○年度 |  |
| (目標)○○年度 |  |

５　未利用資源の飼料利用体制の技術実践

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| リース機材の名称 | 導入(予定)時期 | 規格 | 数量 | 事業額 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 事業実施年度の事業費総額(税抜) |  |
| 助成対象額(総額の１／２) |  |
| 導入目的・用途 |  |

※ 助成対象額は円単位とし、小数点以下は切り捨てる。

※ 事業実施期間において継続する契約を締結している場合は、対象となる機材について、その旨を備考欄に記載すること。

また、この場合、見積書（写）ではなく契約書（写）を添付することとする。

６　未利用資源を利用した飼料供給先(供給予定先)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 供給先農家名 | 市町村名 | 供給数量 | 畜種 | 販売価格 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

７　事業計画

（千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | ○○年度 | ○○年度 | ○○年度 |
| 事業内容 | 事業費 | 補助金 | 事業内容 | 事業費 | 補助金 | 事業内容 | 事業費 | 補助金 |
| (1)地域の未利用資源の活用推進(2)未利用資源の飼料利用体制の技術実践 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

８　事業実施計画（○○年度）

（千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　　分  | 事業内容 | 事業費 | 負担区分 | 備考 |
| 国　庫補助金 | 事業実施主体 |
| (1)地域の未利用資源の活用推進(2)未利用資源の飼料利用体制の技術実践　 |  |  |  |  |  |

９　事業実施により期待される効果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 成果目標の項目 | 現状値(○○年度) | 目標値(○○年度) |
|  |  |  |
|  |  |  |

|  |  |
| --- | --- |
| その他事業実施による効果 |  |

※成果目標は、取組の効果を定量的に評価できる客観的な指標を設定すること。

10　添付書類

・　事業実施主体規程、会計規程、構成員名簿

　　・　事業実施主体収支計画及び推進体制

　　・　その他地方農政局長が必要と認める資料

（注１）農林水産省生産局長が別に定める公募要領による応募書の提出時に添付した書類(事業実施計画書を除く。)のうち、変更がないものについては、省略することができるものとする。

（注２）事業実施期間が複数年の事業の２年度目以降の事業実施主体にあっては、従前に添付した書類に変更がないものについては、添付書類を省略することができる。